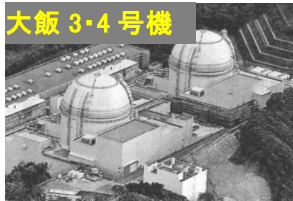


脱原発・放射能汚染を考える

関西電力は「稼働差し止め」中の大飯原発の再稼働を止めろ

2014年5月に福井地裁で「大飯原発 3・4号機の原子炉稼働差し止め」が判決され、高裁で控訴審が行われている。昨年7月に裁判長が一方的に「結審」を通告したが、まだ判決通知もない。関電は「差し止め」決定を無視して、3月に大飯3号機を、そして5月9日に大飯原発4号機を再稼働させた。関電は直ちに稼働を止めるべきである。

関電は昨年5月に高浜3、4号機を再稼働させており、全国の再稼働中原発8基のうちの半数が関電である。関電は美浜3号機などの再稼働も狙っている。



再稼働をしたばかりの大飯原発4号機で、10日午後蒸気発生器の水位低下の警報が出た。そのため出力上昇を止め点検したが原因不明のため、水位計の誤作動として、11日に出力上昇作業を再開した。

大飯5*。県内の小浜市の近接住民では、避難計画に不安があるとして稼働に反対している。(中日新聞 5/8) 滋賀・京都そして大阪からも稼働反対の声が出ている。

白浜を使用済核燃料のゴミ捨て場にするな！

関電は「使用済み燃料の中間貯蔵施設」を県外に2018年中に立地することを福井県知事に約束した。関電は青森県から拒絶され、和歌山県白浜町への中間貯蔵施設の建設をもくろんでいる。

白浜町を核のゴミ捨て場にする関電の「中間貯蔵施設」の建設を白浜町長に明確に拒否させよう。

稼働することによって核燃料廃棄物を生み出す原発の稼働が許されないことは明らかである。

永久の核のゴミ捨て場、原爆被害のための使用済核燃料の「中間貯蔵施設」に反対しよ
 和歌山県白浜町への立地を止めよう

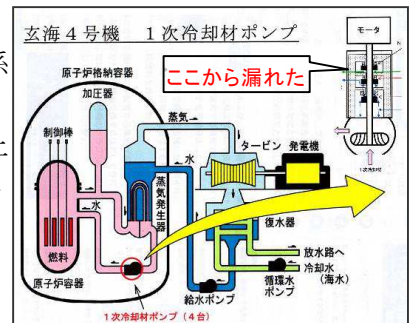
関電の白浜町への中間貯蔵施設建設は、福島原発事故の教訓を踏まえず、住民の健康と安全を軽視する。また、核燃料サイクル推進機構の中間貯蔵施設は、福島原発事故の教訓を踏まえず、住民の健康と安全を軽視する。また、核燃料サイクル推進機構の中間貯蔵施設は、福島原発事故の教訓を踏まえず、住民の健康と安全を軽視する。

発行：避難計画を案ずる関西A4版4頁頒価：1部20円
 美浜の会に連絡して入手可能
mihama@jca.apc.org

再稼働準備中の玄海4号機で冷却システム事故

再稼働準備作業中であった玄海4号機で5月3日に、1次冷却水システムの事故が発生した。3月末には玄海3号機で2次系配管に穴が空いて蒸気が漏れ、配管を交換したばかりである。

今回の事故では1次系冷却水の循環ポンプの流量が通常の2倍以上となった。緊急点検をして部品交換をするので、再稼働は6月以降にずれ込む見通しである。



運転停止中の伊方3号機でも冷却水もれ事故

運転停止中の伊方原発3号機で、9日の未明に、1次系冷却水配管から、ホウ酸水が130ミリリットル漏れた。水が漏れた原因を詳しく調べる予定。伊方3号機は広島高裁の運転停止仮処分命令で稼働していなかったため、大事故にはつながらず、放射性物質の漏出は少なかった。

柳瀬元首相秘書官は原子力計画の立案者

柳瀬氏は10日の国会での参考人審議で加計関係者との面談は認めたものの、安倍首相には報告していないとして、安倍首相の「加計疑惑」を隠蔽しごまかしている。

柳瀬氏は2006年に「原子力立国計画」の立案を主導した。それは、国、電気事業者、メーカーの協力関係を深化させて、①原発比率の増加、②核燃料サイクル推進と関連産業の強化、③高速増殖炉の早期実用化、④原子力産業の国際展開支援、⑤原発拡大と核不拡散の両立、などという、福島原発事故につながる「原発推進計画」であった。それが安倍首相の秘書官であったのだ。

絵本「だるまちゃんとてんぐちゃん」の作者 かのさとしさんの平和と民主主義の想い

「だるまちゃんとてんぐちゃん」や科学絵本で有名であった「かのさとし」さんが5月2日に亡くなった。昨年9月の『現代思想』は、かのさんの特集している。かのさんは安倍政権が「戦争法案」を国会で強行成立させた2015年夏には、安倍首相たちのやりかたは、「多くの兵士を犬死させたのに、自らは汲々逃げ回った大本營の参謀の戦後版」と痛罵した。



誰のための原発輸出
ウエールズへの日立の原発輸出に反対

日立製作所の子会社が英国ウェールズで原発建設計画を進めている。ウェールズでは住民が20年以上にわたり新規原発に反対してきた。原発の建設コストは、電気料金として英国国民に跳ね返る。ウェールズ現地の住民らが来日し、原発事業による地元の環境・社会への影響についての報告が行われる。

日時：5月31日(木) 18:15~20:45(開場:18:00)
 会場：うめだ総合生涯学習センター第一研修室 (梅田市街地改造第2ビル 5F)
 現地参加：PAWB(ロブ・デイビーズさん他3人)
 共催：FoE Japan, NNAF

経産省がゼロエミッション電源普及を本格化 (5/3)日経

経産省は20年度には、発電部門と送電部門を別会社にする「発送電分離」を実施する。また30年度にはゼロエミッション電源(原発+再生エネ)を44%にする目標達成を大手電力業者(全体の9割)に求める。その内実は2016年度の現状と較べると、再生エネは1.5倍、原発はドンドン稼働して10倍以上というんでもない計画である。

原発電力は市場価格の1.6倍!?(5/10)TBSNEWS

日立製作所の中西会長が3日に、英国メイ首相と協議し、日立が建設する原発からの電力買取価格を、市場価格の1.6倍とすることを求めた。今月末日までに合意を目指しているが、英国政府は財政悪化が懸念され、交渉は白紙となる可能性がある。

「対策とれば事故防げた」と島崎氏が証言 (5/10)朝日

5月9日、旧経営陣3人の業務上過失を問う強制起訴裁判の第11回公判が東京地裁で開かれた。地震学者で国の地震予測「長期評価」を2002年にまとめた島崎邦彦氏は「東北から関東の広い範囲で10⁶級の津波が予想された」、「(長期評価に沿って)防災対策がとられていれば、原発事故は起きなかったと思う」と証言した。

「帰還困難区域解除 5年以内に8%に (5/12)朝日

政府は11日、福島県葛尾村の帰還困難区域の一部を解除する「特定復興再生拠点」の認定作業を行った。新たに95^{ha}が解除の対象となり、これで福島県の帰還困難区域の8%に、5年以内に人が住むことになる。徐染作業や廃炉作業の作業員の居住を想定している。

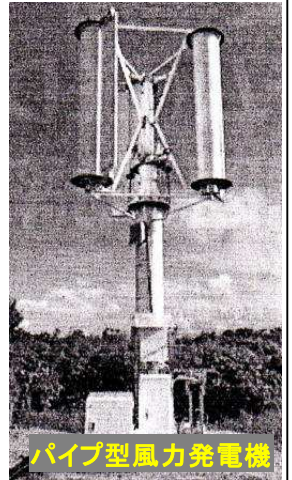
特集⑧ 再生可能エネルギーに関する新聞記事紹介

台風などの暴風下で使用できる風力発電 (5/11)産業

一般的な風力発電は、台風に備え、強度を高め、台風が直撃すると故障を防ぐため回転を止めたり、発電機を地面に倒したりするため、発電効率が悪い。

風力発電機開発ベンチャーのチャレナジーが開発した装置は、プロペラを使わないパイプ型回転システムで、暴風下でも使える装置として、フィリピンや日本の台風の経路に当たる地域に需要を見込んでいる。

垂直軸型マグナス式風力発電機は、回転する円筒を風の中に置くことで発生する特殊なエネルギーを使って発電する。円筒が地面に対して垂直で、あらゆる風向きに対応できる。円筒部分に制御モーターを搭載し、風が極度に強まると回転速度を緩めることが出来、台風のような暴風下停止せずに発電できる。風力発電は日本では、市場に盛り上がりがかけている。国内では発電量が安定しにくいいため、設備利用率は2割程度と世界平均の3割を下回っている。今回チャレナジー社は栗本鉄工所と提携してガラス繊維強化プラスチック円筒を共同開発する。



パイプ型風力発電機

紹介 上昇する韓国での「北朝鮮信頼度」ハンギョレ日本語電子版 2018/5/3 より

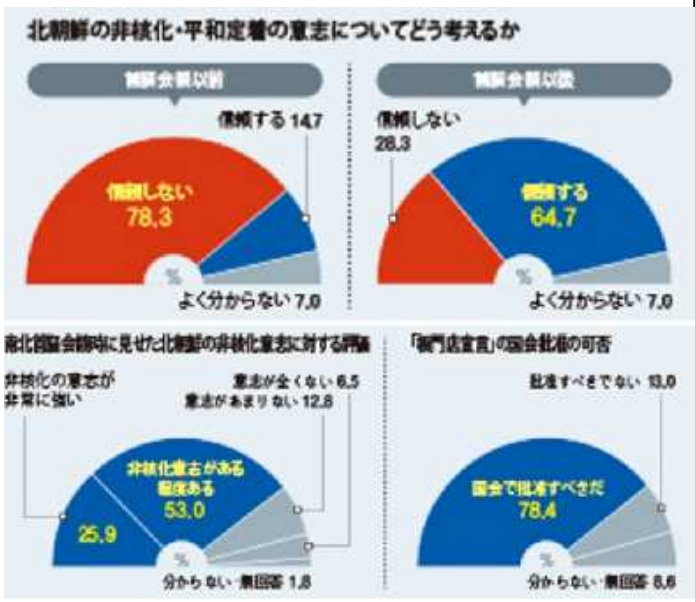
日本のマスコミ報道は、反北朝鮮、反韓国のドライブが強く、東アジア・朝鮮半島で現在進行している平和への動きをほとんど報じていない。韓国の「ハンギョレ新聞・日本語電子版」からの記事を要約して紹介する。

すべての年齢・地域で「北朝鮮信頼度」急上昇

世論調査の結果、韓国国民の10人中9人は南北平和協定締結を歓迎している。そして「北朝鮮の非核化意志」を信頼する国民が、信頼しない国民の2倍を越えている。4・27南北首脳会談以後72時間の間に現れたことだが、個人の頭の中で固まっていた対北朝鮮認識が「地殻変動」的に変わったという評価が出てくる。

世論調査専門機関であるリアルメーターは、文在寅大統領と金正恩北朝鮮國務委員長が午前の首脳会談を終えた直後に、全国成人500人を対象に緊急世論調査を実施した。「北朝鮮の非核化・平和定着の意志をどう見るか」と尋ねた。「板門店宣言」が出る前だったにもかかわらず、この半日に起こった世論変化は、朝鮮半島に春が来つつあることを如実に示した。北朝鮮の意志を「信頼する」という回答は64.7%で、「信じない」に比べて2倍以上高かった。国民の10人中6人以上が「今回は北朝鮮を信じるに値する」と見たわけだ。

これは北朝鮮自体に対する認識変化とともに「朝鮮半島の運転者」論を掲げる韓国政府の交渉力と真正性に対する信頼が一緒になった結果と見られる。南北首脳会談の成果を尋ねる問いに対し、85.9%は「成果があった」と答えた。特に文在寅大統領が板門店宣言を通して明らかにした「今年中に終戦宣言、停戦協定を平和協定に転換」の方針に対しては、90.7%が賛成意見を表明した



沖縄・平和行進「美ら海を守れ」

沖縄が「本土復帰」した1972年5月15日を記念した「5・15平和行進」が11日から13日に全島で行われた。米軍基地の撤去と普天間基地の辺野古移設反対、憲法9条改正阻止を掲げて行進した。13日の宜野湾市の海浜公園で開かれた「平和とくらしを守る県民大会」では「日米両政府によって強行される米軍基地の強化・拡大に反対」との宣言が採択された。3日間の行進には述べ5400人が参加した。



沖縄 校庭からの避難が3ヶ月で367回 (5/10)朝日

米軍ヘリの窓枠が落下した普天間第2小学校では、いまも米軍機が近づく度に児童が校庭から避難している。沖縄防衛局が職員5人を配置し、米軍機が近づくと避難を呼びかける。3ヶ月で367回の避難指示があり、最大は1日に29回も避難し、教育に大きな支障が出ている。

5/15 中国人強制建行国陪陪公口頭弁論

5月15日に第13回口頭弁論が大阪地裁202大法廷で開かれた。原告側からは、大阪の「川口・築港事業場報告書」を提出した。原告12人の陳述書は今月末日までに提出することとなった。次回7月13日公判では、原告代理人の陳述以外に、中国から来訪する大阪築港の原告・張忠傑さんと花岡の原告・韓建国さんの2人の原告の最終陳述が認められた。

裁判後の集会で、弁護団からは、裁判所での事実整理は進んでおり、その事実認定をさせ、正しい評価を要求していく。



次回最終弁論では、今までに語りつくせなかった課題を「最終準備書面」として提出したい。最後まで、悔いのない闘いを展開することが訴えられた。

第14回口頭弁論(日時:7月13日(金)10:00)

5/18 学校・社会に人権の風を！ 「君が代」裁判と卒・入学式から考える

事務局から、今年も君が代斉唱時の不起立で3人の教員に戒告処分が課せられと報告があった。府教委からの事情聴取に対し、立会いを要求し、隣室での待機と打ち合わせ承認などの闘いが進んでいることも報告された。

今年も、卒・入学式での合計50校へのビラまきが行われたことが報告された。続いて処分撤回と再任用を要求する裁判を担う弁護団から3人の弁護士から報告が行われた。大阪における特殊性＝大阪府教育条例が存在し

ていることを強調し、その違憲性と闘っていくことが必要。

教員が行動で見本を示し、「子どもたちに『感得させる』という言葉が使われていること、任用拒否の論理の中で「自分の主義主張に重点を置くこと」が犯罪行為の如く扱われていることが説明された。

最後に、厳しい条件の中で、裁判闘争を闘う ZAZA 会員から報告が行われた。経済的不利益を押し付けられ、ありえないような不当判決を受けながら、明るく、そして楽天的に闘う報告が行われた。



5/19 「愛国兵士づくり」のための道徳教科書を許すな！全国集会

「愛国主義的」中学道徳教科書が2種類登場

今年夏に中学校の道徳教科書が全国で採択される。集会ではまず、2種類の「愛国主義的」教科書が登場することになった経過と、その危険な内容が報告された。

育鵬社とフジ・サンケイグループは中学校の道徳教科書の発行は出来ず、日本教育再生機構の八木秀治氏は自らが「日本教科書(株)」を設立し(後に晋遊舎の武田会長が代表に代わる)、教科書を発行する。

日本教科書(株)の実質親会社の晋遊舎は、「嫌韓本」や児童ポルノ本も多数出版している会社で、教科書発行会社としては相応しくない。右派勢力は「今年も日本教科書に期待」「頑張れ、日本教科書」とエールを送っている。この「日本教科書」以外に、小学校の道徳教科書を発行した日本会議系の執筆者が作成する「教育出版」も中学道徳教科書を発行する。



日本教科書は人権侵害が顕著な教科書

黒人初の大リーガーになったロビンソン氏が、「差別を

受けても、やり返さない勇気」をオーナーに要求され、差別に手向かわなかったから、認められたという、人種差別撤廃条約の理念を真っ向から否定した話。その他、長時間労働の肯定、女性への家庭優先などの話が並ぶ。

もう一つの教育出版も、戦国武将、勤皇志士などの偉人伝と、「自国中心主義」「排外主義」の教科書である。

各地域・団体からの闘争の報告

横浜、藤沢、名古屋、石川、滋賀、豊中の各地で「愛国的教科書」の採択と闘う団体、そしてフジ住宅ヘイト訴訟、民族教育ネット、韓国での教育運動から報告。

教育委に「日本教科書」「教育出版」の不採択を要求しよう

①「日本教科書」版の具体的批判を示して不採用を教育委員会に要請しよう ②日本教科書版はモラロジー研究会の雑誌からの引用が多く、自己中心である。③情報公開の徹底を要求し、採択の民主的運用を要求しよう。④6～7月に、各地で開かれる教科書展示会に参加して意見を書いてこう。との方針が提起された。



「戦争法」違憲訴訟裁判 第7回口頭弁論は6月27日

3月19日の第6回口頭弁論では、高作正博さんの意見書「安保法制の違憲性と立法行為の違法性」が提出された。意見書は「権利の侵害と損害の間には相関があること」を主張し、「平和的生存権は『反射的利益(法律で保護されていない)』である」として、権利の侵害とされてこなかった従来の判断に対して、明確であり具体的な損害については権利の侵害として判断されるべきであることを主張した。

次回公判には、「損害賠償に関する原告の陳述書」が提出される。原告50人以上の『平和的生存権』への侵害が具体的事実として、損害賠償請求が提出される。

また前田哲男さんの意見書が提出される。大法廷を原告と傍聴者で埋め尽くそう。

日時:6月27日(水)

11:00~/早い目に

場所:202 大法廷



『振って、振られて』が上演 作:くるみざわしん

堺市での上演に続いて、吹田でも『振って、振られて』が上演される。この演劇は大阪で旗揚げした劇団「光の領地」代表で劇作家のくるみざわしんさんが10年以上かけて書き直し、完成させたものである。舞台は、国民投票で3度目の改憲が決まった夜、改憲反対の立場で発言していた憲法学の教授は国外に脱出する準備を進める。助手も荷造りを手伝うが、改憲推進派の別の教授が国旗「日の丸」を持って現れて…

日時:6月17日(日) 14:30~ 当日2000円

場所:吹田サンクスホール(JR吹田駅すぐ)

6/9 日朝平和の課題 伊藤孝司氏講演

アジアの民衆の立場から、日本軍「慰安婦」など日本の加害、そして戦後の経済進出に伴う環境破壊を取材するフォトジャーナリスト伊藤孝司さんの講演会「米朝対決の歴史と日朝の課題」が開かれる。映画も上映予定。

主催:朝鮮問題を考える宝塚市民の会 ほか

日時:6月9日(土) 13:30~

場所:宝塚西公民館2階ホール(阪急小林駅)

書評 『九州大学 生体解剖事件

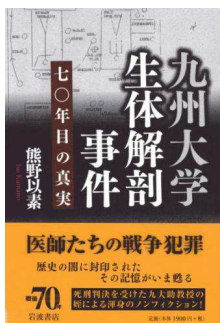
豊中市議会議員として、「九条の会・豊中いちばん星」の呼びかけ人として活躍される熊野以素さんの著作。熊野さんは豊中市での「森友疑惑」追及の3議員の1人としても活躍されている。その想いを垣間見れる著作である。

米軍捕虜に対する生体解剖・生体実験

戦争末期に本土空襲で撃墜された米軍B29の捕虜、その他捕虜を対象に九州帝大で行われた8人の生体解剖。『実験手術』と称して隠然と(公然の秘密として)実行された生体解剖・生体実験の経緯とその隠された事実が列挙されている。学内関係者の多くは知っていたが目をつぶった。一方これらは、当時の医学会では公然の事として語られてもいた。むしろ、学者の実績として評価された。あろうことか、最後に残った捕虜10数名は捕虜虐待の証拠隠滅のために8月15日の敗戦放送直後に殺されていた。背景にあるのは、731部隊と同根の軍による犯罪と人間性の抹殺、大学内での上級教授以下の倫理欠如と責任回避である。

大学が一体となった戦争犯罪

本書の主人公の医学部第一外科の助教授であった鳥巢太郎は、生体解剖には情動的に葛藤・抵抗し、一部



忌避したが流れにのみ込まれた。妻の反対説得は身に染みだが、抗しきれなかった。

「内外の研究者の目前で繰り広げられた実質公開の手術、顧みられない医の倫理、その中で苦悩する伯父の姿…平時ならば善良な医師として生きたであろう人々が、戦争犯罪に加担していく。多くの研究者・医師は、

七〇年目の真実』 熊野以素 著

学術的興味と経歴のために、現場で生体解剖に意識的に協力したのである。

戦後 GHQ 軍事法廷に渦巻く陰謀

この犯罪は起訴された。執刀した石山教授が自殺したため、弁護団は鳥巢氏を教授として首謀者に仕立て上げ、大学や教授の責任を転嫁した。「罪を自覚するがゆえに窮地に追い込まれる伯父の姿」。鳥巢氏はGHQ中心の横浜裁判で死刑判決を受け覚悟したが、妻らの苦難の結果、再審査請求が認められ減刑を得た。その過程で、「法廷では許されなかった本当の証言」を、被告たちは嘆願書のなかで詳しく語っている。「そこから浮かび上がってきたのは、軍と大学の組織犯罪の真相である。」鳥巢氏は、妻の必死の苦労もあって絞首刑から10年に減刑となり、のち3年半で服役を終え釈放された。

「仕方がなかった」と言うてはいかんです

「当時、ああする(命令に従う)よりほかに仕方がなかったのではないかという問いに、あの時代に反戦を叫ぶことに比べれば、私らが解剖を拒否することの方がたやすかったかもしれません。ともかくどんな事情があろうと、仕方がなかったと言うてはいかんです。」

著者の熊野以素氏はこのように聞かされた。「伯父の医院で療養中にベッドで憲法の教科書を読んでいた私に伯父は、「以素、憲法の解釈はただ一つだ。あの憲法をつくった日の気持ちに立ち返って考えればすぐわかる」と強い調子で言った。日本は永久に戦争を放棄したのだ」と。「これまで自分が尊いと思うておったものが、信じていた価値が一挙にひっくり返る。そんな瞬間が人生にはある。名誉も地位も何もかもが空しくなる。その時、人間の裸の姿がわかる、その人間の本当の値打ちが決まる。」

岩波書店刊行 2015. 4 ¥1,900

雑誌『図書』(2016/12)に著者による紹介記事がある。